

(上告状兼上告受理申立書記載例)

収入  
印紙

上告状兼上告受理申立書 ※1

平成〇〇年〇〇月〇〇日

最高裁判所 御中 ※2

上告人兼申立人 甲 山 一 郎 ,

〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 広島市△△区□□〇丁目〇〇番〇号 (送達場所)

上告人兼申立人 甲 山 一 郎

電話 082-〇〇〇-〇〇〇〇

〒〇〇〇〇-〇〇〇〇 広島市△△区□□〇丁目〇番〇-〇〇〇〇号

被上告人兼相手方 乙 川 次 郎

〇〇〇〇〇〇請求上告兼上告受理申立て事件

訴訟物の価額 〇〇〇万円

ちょう用印紙額 〇万〇〇〇円

上記当事者間の広島高等裁判所(〇〇支部)平成〇〇年(ネ)第〇〇〇号〇〇〇〇〇〇〇〇〇請求控訴事件について、平成〇〇年〇〇月〇〇日下記判決の言渡しを受け、同年同月〇日判決正本の送達を受けたが、同判決は全部不服であるから上告提起及び上告受理の申立てをする。 ※3

第二審判決の表示 ※4

主 文

本件控訴を棄却する。

控訴費用は控訴人の負担とする。

上告の趣旨

原判決を破棄し、更に相当の裁判を求める。

上告受理申立ての趣旨

本件上告を受理する。

原判決を破棄し、更に相当の裁判を求める。

上告及び上告受理申立ての理由

おって、上告理由書及び上告受理申立て理由書を提出する。 ※5

添付書類

上告状兼上告受理申立書副本

1通 ※6

- (注) ※1 表題は、「上告状兼上告受理申立書」としてください。
- ※2 書面のあて名は、「最高裁判所」としてください。
- ※3 事件番号等は、高等裁判所の判決のとおり記載してください。
- ※4 高等裁判所の判決主文のとおり記載してください。
- ※5 申立後、別途理由書を提出する場合の記載例です。
- ※6 被上告人兼相手方が1名の場合の記載例です。上告状兼上告受理申立書は、被上告人兼相手方に送達するので、被上告人兼相手方の数に応じた副本を添付してください。